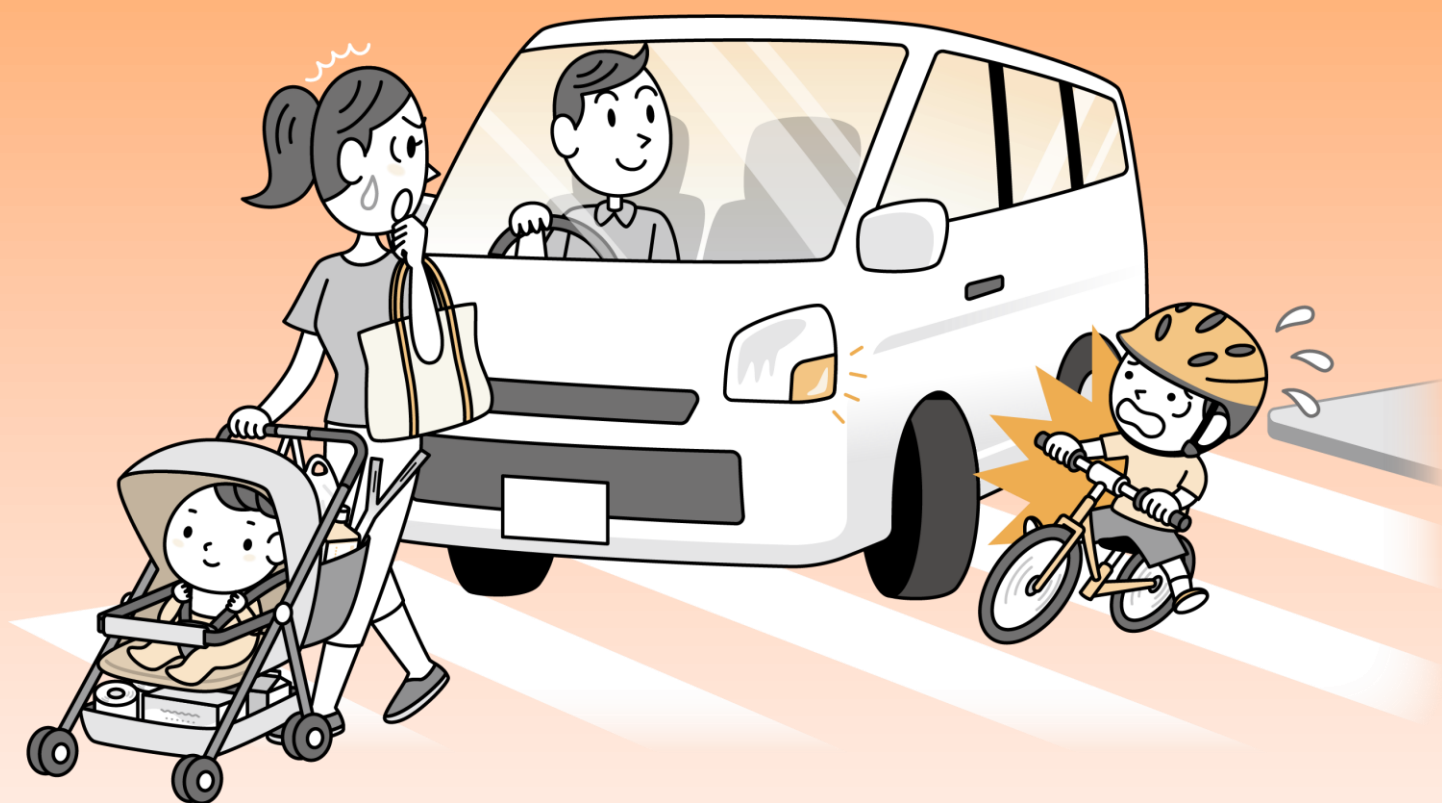


くらしの危険 Number 387

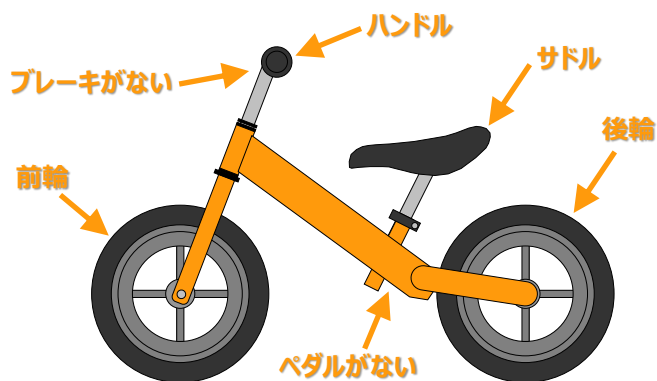
ペダルなし二輪遊具の事故に注意！



ペダルなし二輪遊具は、幼児用自転車に似た形状をしています。基本的にペダル及びブレーキが付いておらず、乗車した幼児が自身の脚で加速と減速を行う二輪の遊具です。しかし、坂道などで滑走して速度が上がると、幼児の脚では減速できず、転倒や衝突によりけがを負うことがあります。

2019年度からの5年余りに、幼児がペダルなし二輪遊具で屋外を走行中に発生した事故事例が100件以上寄せられています。

一般的なペダルなし二輪遊具の特徴と各部の名称



独立行政法人
国民生活センター

National Consumer Affairs Center of Japan

👉 こんな事故が起きています

【事例1】坂道での転倒

ペダルなし二輪遊具で坂道を下りきったところの路肩に乗り上げ、排水溝の鉄網に前のめりに頭から転倒し、左前頭部を打撲した。保護者と上のきょうだいが後ろから歩いて追いかけていた。ヘルメットなし。前額部の傷を3針縫合、頭蓋骨骨折のため7日間入院。

(事故発生年月:2023年1月、4歳8カ月、男児)

【事例2】坂道での衝突

保護者と公園でペダルなし二輪遊具で遊んでいた。下り坂でスピードがあがった状態で鉄柵に激突した。蛇行した下り坂を本児が走行し、保護者は追い付けず本児を視界にとらえることができなかった。後方より保護者が追いついたとき、本児は鉄柵の脇で頭部より出血し泣いていた。両側下顎骨骨折、前額部挫創。

(事故発生年月:2022年12月、3歳7カ月、男児)

【事例3】道路で自動車と接触

保護者がきょうだいのベビーカーを押して横断歩道を渡っていた。後ろから患児がペダルなし二輪遊具にまたがってついて来ていた。保護者が横断歩道を渡りきって振り返ると、左折した乗用車にぶつかった音が聞こえ、患児が路上に倒れ、頭部から出血していた。

(事故発生年月:2020年3月、4歳3カ月、女児)



🔍 ペダルなし二輪遊具の事故を再現したところ…

坂道で転倒及び衝突した事故事例の再現

10°の坂道で
10m滑走した場合、
一般の自転車
と同等の速度
(約16km/h)
となりました。



転倒

坂道で転倒及び衝突した場合、**幼児ダミーの頭部が路面や金属製の柵に強く衝突し、ヘルメットが損傷することがあります。**



衝突

自動車と接触した事故事例の再現

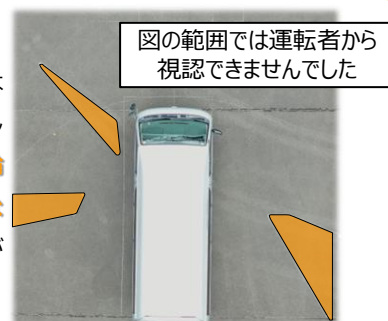
※写真の車両は事故事例とは関係ありません。

条件によっては**自動車の運転者が、周囲にいるペダルなし二輪遊具を視認できずに、接触事故**が起きる可能性があることが確認されました。



自動車と
ペダルなし二輪遊具が接触

自動車の周囲には幼児ダミーが乗車したペダルなし二輪遊具を視認できない範囲があることが分かりました。



図の範囲では運転者から視認できませんでした

⚠️ 消費者へのアドバイス

- ✓ 保護者は**取扱説明書の内容を確認し、使用が禁止されている場所では使用させない**ようにしましょう。
- ✓ **坂道を滑走してしまった場合**、傾斜によっては短い距離でも**一般の自転車と同等の速度**になります。
坂道では使用させないようにしましょう。
- ✓ **両脚のかかとがしっかりと着地することを確認して、ヘルメット等の防具を着用**させるようにしましょう。
- ✓ 子どもだけで使用せず、**必ず保護者等が立ち会い、子どもから目を離さない**ようにしましょう。
- ✓ **自動車の周辺では使用させない**ようにしましょう。